



カトリック札幌地区 正義と平和協議会・講演会

いま、キリスト者として求められること 平和を希求する祈りの自由と 非暴力平和主義としての憲法24条

政権を担っている方々から、まわりの人々から、「今の憲法を変えよう」が、声高に聞こえてきます・・・どうして、なんのため、どこをどのように???

憲法を変えると、平和、自由、平等、そして私たち個人の尊厳はどうなるのでしょうか???

日々私たちが暮らす地域、家庭、教会などでは、どのように受け止めたらよいのでしょうか???これらについて、清末愛砂さんに教えていただきます。



講師 ^{きよすえ} 清末 ^{あいさ} 愛砂さん

1972年生まれ。山口県周南市出身

室蘭工業大学大学院准教授。専門は憲法学・家族法・ジェンダー法。

憲法24条と9条との関係、戦争や武力行使下のジェンダーに基づく暴力、DV法、婚姻法、親権監護法制について研究している。

近年の著書として、

『ピンポイントでわかる自衛隊明文改憲の論点』（編著、現代人文社、2017年）

『緊急事態条項で暮らし・社会はどうか』（編著、現代人文社、2017年）

『北海道で生きるということ』（編著、法律文化社、2016年）等がある。

学生時代に受洗。キリスト者と抵抗。キリスト者と平和主義に関心を寄せる。

日時：2018年2月25日(日)14:30~16:30

会場：カトリック北一条教会 カテドラルホール(中央区北1東6)

地下鉄東西線「バスセンター前」下車10番出口より徒歩3分 中央体育館 向い

主催：カトリック札幌地区正義と平和協議会

問合せ 松永 武 011-864-5526

参加費
無料